

PDF 自動印刷アプリケーション 取扱説明書

本アプリケーションは、カラースキャン機能を持つモノクロ imageRUNNER や Satera などでカラー スキャンした PDF データを、ネットワーク上の他のカラープリンタなどからカラー印刷することが できるようにするアプリケーションです。



本アプリケーションの動作環境は次の通りです。

動作環境			
OS	Windows XP Windows Vista Windows 7		
必須アプリケーション	Adobe Reader 7.10 Adobe Reader 8.12 Adobe Reader 9 Adobe Reader X Acrobat 7.0 Standard Acrobat 8.1 Standard Acrobat 9 Acrobat X (上記のいずれか1つ) .NET Framework 2.0 .NET Framework 3.5		
その他	PDF ファイル送信機能有りのCanon 製 MFP ^{*1} Canon 製カラープリンタ		

※1:ネットワーク上に上記MFPが接続されていること

【商標について】

- Microsoft, Windows および Windows XP/Windows Vista/Windows 7は、米国 Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe、Adobe Reader、Adobe Acrobatは Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の 国における商標または登録商標です。
- ・ Canon、iR はキヤノン株式会社の商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

【呼称について】

Microsoft[®] Windows[®] XP Operating System 日本語版を Windows XP と表記しています。 Microsoft[®] Windows[®] VistaTM Operating System 日本語版を Windows Vista と表記しています。 Microsoft[®] Windows[®] 7 日本語版を Windows 7 と表記しています。

Microsoft[®] Windows[®] Operating System 日本語版をWindows と表記しています。

■制約条件

- ①MFPからのスキャン時に発生したエラーは、本アプリケーションでは検知できません。
- ② Adobe Reader および Adobe Acrobat で発生したエラーは、本アプリケーションでは検知できません。
- ③印刷時のジャム等のエラーは、本アプリケーションでは検知できません。
- ④出力用紙サイズ等の設定はAdobe Reader およびAdobe Acrobatの設定に依存します。
- ※ 例えば Adobe Readerの印刷設定で「大きいページを縮小」の設定になっていた場合は、大きなサイズ (A3やB4) の原稿も A4 で印刷されます。
- ⑤ 原稿サイズ混載時のスキャンサイズは MFP のスキャン設定に依存します。
- ⑥ MFP 送信設定で暗号化 PDF を選択した場合の動作は下記の通りですが本アプリケーションエラーを検知できません。
 - ・「文書を開く時にパスワードが必要」⇒ Adobe Reader および、Adobe Acrobat で自動印刷時にパスワード入 力画面が表示され、正しいパスワードを入力すると印刷可能。
 - ・「印刷を許可しない」⇒Adobe Readerおよび、Adobe Acrobat で印刷に失敗する。

1 動作環境

■前提条件

- ①本アプリケーションをサーバにインストールして使用することはできません。
- ②対象ファイルはPDFファイルのみとします。
- ③ Adobe Reader および、Adobe Acrobatのバージョンによって印刷時に画面が一瞬表示されます。
- ④出力プリンタはLAN 接続あるいは、USB 接続とします。
- ⑤印刷を行うプリンタは、Canon製品(ドライバー名に「Canon」があるもの)のみとします。
- ※なおCanon製プリンタの判別はドライバ名に「Canon」の文字が存在するか否かで判断します。iWDMをインストールするとできる下記プリンタなども登録できてしまいます。「Canon imageWARE Image Driver」
- ⑥ Windows Vista には Adobe Acrobat 7.0 は正式対応していないことがわかりました。詳細については下記 URLを 参照ください。

URL: http://www.adobe.com/jp/support/winvista/

PDF 自動印刷アプリケーションをインストールし、設定を行った後は、スキャンされた PDF を次のようなデータの流れでカラープリントすることができます。

データの流れ

2



モノクロ imageRUNNER よりスキャンされたデータは、PDF ファイルでクライアント PC の監視フォルダに送信・収納 され、印刷するカラープリンタが監視フォルダに収納された PDF ファイルを、プリンタドライバの設定に従って自動印 刷します。





クライアントPCとネットワークで共有接続されたカラースキャン対応のモノクロ imageRUNNER/Satera、キヤノン製カラープリンタが必要です。また監視フォルダがあるクライアントPCとUSB でローカル接続されたキヤノン製カラープリンタも出力に対応します。

1 インストール / 設定手順

4

Step ①	Adobe Acrobat Reader をインストール
	スキャンデータは PDF で送られ印刷されるので、クライアント PC に Adobe Acrobat Reader がインストールされている必要があります。すでにインストールされている場合 は必要ありません。
Step (2)	プリンタドライバの設定
	出力するプリンタのプリンタドライバを、出力設定に合わせて設定します。同一の出力 プリンタに対しても、設定が異なっている場合は設定ごとに複数のインストールを行いま す。
Step ③	監視フォルダの設定
	パソコン内の任意の場所に、出力設定に合わせた監視フォルダを作成します。最大10個 まで登録できます。
Step (4)	スキャンデータの宛先登録
	スキャンする imageRUNNER/Satera で、スキャンデータの宛先 (クライアントPCの監視 フォルダ)を登録します。
Step (5)	アプリケーションのインストール・設定
	パソコンに PDF 自動印刷アプリケーションをインストールし、設定を行います。Step2 と Step3の紐付けや、PDF の自動削除等の各種設定を行います。

Step(1)

Adobe Acrobat または Adobe Reader をインストールする

スキャンデータは PDF で送られるので、クライアント PC に Adobe Acrobat または Adobe Reader がインストールされている必要があります。すでにインストールされている場合は 必要ありません。

Adobe Acrobatのインストールは、Adobe Acrobatの取扱説明書に従って行ってください。

Adobe ReaderはAdobe公式サイト(http://www.adobe.com/ jp/)からダウンロードすることができます。サイト内の指示に 従い、Adobe Reader 7~10のいずれかをダウンロードしてくださ い。ダウンロード後、アイコンをダブルクリックとインストール が開始されます。(ダウンロードと合わせてインストールされる こともあります)



Adobe Reader8.0

Step(2) プリンタドライバの設定

出力するプリンタのプリンタドライバを、出力設定に合わせて設定します。同一の出力プリンタに対しても、設定が異なっている場合は設定ごとに複数のインストールを行います。 ここでは、Windows XP での操作を示しています。

■例:出力プリンタがCanon LBP5900 LIPSLX で、2in1印刷するドライバ設定例(Windows XP)



上記設定を、出力したいプリンタや印刷設定に合わせて複数回(例えば両面印刷、製本印刷など)行います。





4

シ監視フォルダの設定

クライアントPCの任意の場所に、出力設定に合わせた監視フォルダを作成します。スキャンした書類データはPDF としてここに送信・収納されます。監視フォルダは最大10個まで登録できます。

監視フォルダは共有フォルダとして作成する必要があります。作成したフォルダを右ク リックし、共有とセキュリティ(H)を選択してフォルダのプロパティ画面(共有タブ)を表示 させます。プロパティ画面内、「ネットワーク上でこのフォルダを共有する」にチェックを 入れることによりフォルダが共有されます。

■例:共有フォルダの作成(Windows XP)



Step(4) スキャンデータの宛先登録

4

スキャンデータの宛先 (クライアント PC の監視フォルダ) を imageRUNNER に設定します。 その宛先を定形業務ボタンに登録すれば、定形業務ボタンひとつでカラープリンタから出 力できるようになります。

■例1:imageRUNNER iR 3245の場合



■例1:imageRUNNER iR 3245の場合 つづき

4



■例:Satera MF7000の場合





閉じる

システム状況/中止

- 21

定型業務ボタンが登録されます。

🚳 1/2 🔽 📥 閉じる

1

システム状況/中止

Step 5 アプリケーションのインストール・設定

パソコンに PDF 自動印刷アプリケーションをインストールし、設定を行います。Step 2 と Step 3 の紐付けや、収納された PDF の自動削除等の各種設定を行います。 64bitPC の場合は 64bit 版の Setup.exe を、32bitPC の場合は 32bit 版の Setup.exe をダブル クリックしてください。



1. Setup.exe をダブルクリックします。



2. インストール画面が表示されます。画面の指示に従い、インストールを行います。



.NET Framework について

PDF自動印刷アプリケーションをインストールするPCには、「.NET Framework2.0」または「.NET Framework3.5」がインストールされている必要があります。本アプリケーションのインストールプログラムは、起動すると最初にPC内にMicrosoft .NET Framework 2.0又はMicrosoft .NET Framework3.5があるかを自動的に判別し、ない場合はインストールを開始します。本アプリケーションのインストールはその後開始されます。 インストールのフローは次のようになります。







1. アプリケーションの起動 ~ 設定画面の表示

インストール後、初めて使用する場合は下記の画面が表示されます。OKをクリックし、設定画面 を表示します。

PDF	動印刷アブリケーション 🔀
(į)	初期設定を行ってください。
	ОК

インストールすると、本アプリケーションはスタートアップ に登録されますので、OS起動時に自動で起動します。 アプリケーションを終了した後 (⇒5-4 アプリケーションの 終了)、再度起動したいときはスタートメニュー⇒全てのプ ログラム⇒ PDF 自動印刷アプリケーション⇒ PDF 自動印 刷アプリケーションを選択しアプリケーションを起動しま す。

アプリケーションが起動すると、監視フォルダへの監視が始 まり、タスクバーの通知領域にPDF自動印刷アプリケーショ ンのアイコンが表示されます。アイコンを右クリックし、オ プションを選択することにより設定画面が表示されます。



■設定画面

💁 PDF自動印刷アプリケーション			
監視フォルダ 環境設定			
監視フォルダ1	参照	監視時刻1(HHMM)	出力プリンタ1
C:¥temp¥2 in 1		1730	Canon iR-ADV C5030/5035 LIF▼
監視フォルダ2	参照	監視時刻2(HHMM)	出力プリンタ2
C:¥temp¥両面		1800	Canon iR C3880/C4580 LIPSL>・
監視フォルダ3	菱照	監視時刻3(HHMM)	出力プリンタ3
C:¥temp¥片面		1830	Canon LBP5700 LIPS 👤
監視フォルダ4	参照	監視時刻4(HHMM)	出力プリンタ4
C:¥temp¥フォルダ4		1900	Canon LBP5700 LIPS
監視フォルダ5	参照	監視時刻5(HHMM)	出力プリンタ5
C¥temp¥フォルダ5		1930	Canon LBP5700 LIPS
監視フォルダ6	参照	監視時刻6(HHMM)	出力プリンタ6
C¥temp¥フォルダ6		2000	Canon LBP5700 LIPS
監視フォルダ7	参照	監視時刻7(HHMM)	出力プリンタ7
C:¥temp¥フォルダ7		2030	Canon LBP5700 LIPS 💽
監視フォルダ8	参照	監視時刻8(HHMM)	出力プリンタ8
C:¥temp¥フォルダ8		2100	Canon LBP5700 LIPS 🔽
監視フォルダ9	参照	監視時刻9(HHMM)	出力プリンタ9
C¥temp¥フォルダ9		2130	Canon LBP5700 LIPS 💽
監視フォルダ10	参照	監視時刻10(HHMM)	出力プリンタ10
C¥temp¥フォルダ10		2200	Canon LBP5700 LIPS 💽
			キャンセル 設定



Step (5)-3 設定

1. 監視フォルダ(送信されたファイル)と出力プリンタの紐付け、指定時刻監 視時のフォルダ毎の監視時刻を設定します。



必要に応じて複数設定を行います。最大10個まで設定できます。



Step 5 -4 環境設定

設定画面で、環境設定タブを選択することにより環境設定画面が表示されます。 監視方法、監視フォルダの監視間隔時間の設定、PDFファイルの印刷時のアプリケーション、保存先 /保存時間、エラー時の収納フォルダ、ログファイル保存先/保存期間などを設定します。

PDF自動印刷アフリケーション 監視フォルダ 環境設定 監視方法 ・ 一定間調監視 1指定時刻監視 30 秒 (10~300)	監視フォルダを監視する方法 を指定します。 決まった時間に監視したい場 合には指定時刻監視を選択し ます。
PDF E印刷アプリケーション Adobe Reader ・ Acrobat ・ E印刷後のPDF削除 PDFを残す ・ PDFを残さない ・ PDFファイルの保存先 C×Documents and Settings¥ADKZDB238¥My Documents¥Canon MJ¥PD 参照 PDF保存期間 ・ 7 日(1~99)	ー定間隔監視時の監視フォル ダの監視間隔を設定します。 最大300秒まで設定できます。 PDFファイルを印刷するときに 起動するアプリケーションを Adobe Reader か Acrobat のど
エラー エラーフォルダ 「C×Documents and Settines¥ADK2 2238¥My Documents¥Canon MJ¥PD 参評 ログ ログファイルの保存先 「C×Documents and Settings¥ADK2DB238¥My Documents¥Cano, MJ¥PD 参評	印刷後にPDFファイルを削除 するかを設定します。 PDFを再利用したい場合など はPDFを残す にチェックしま す。
Dゲ(保存期間 7 日 (1~99) キャンパル	印刷後PDFファイルを残す設 定をしたときに、PDFの保存先 を指定します。 PDFファイルの保存期間を設 定します。最大99日まで設定
ログファイルの保存期間を設定します。 最大99日まで設定できます。 ※ オプション画面表示時は監視処理を停止します。	できます。 エラー時のPDFファイルを収 納するフォルダを指定します。 再度印刷を行いたいときに未 印刷のものが分かり便利です。

各デフォルト値、設定範囲は次の通りです。

項目名	デフォルト値	設定範囲
監視方法	一定間隔監視	
フォルダ監視間隔	30(秒)	10~300
印刷アプリケーション	Adobe Reader	
印刷後のPDF削除	PDFを残さない	
PDFファイルの保存先	ユーザ毎のマイドキュメント¥Canon MJ¥PDFAutoPrint¥Move	
PDF保存期間	7(日)	1~99
エラーフォルダ	ユーザ毎のマイドキュメント¥Canon MJ¥PDFAutoPrint¥Err	
ログファイルの保存先	ユーザ毎のマイドキュメント¥Canon MJ¥PDFAutoPrint¥Log	
ログ保存期間	7(日)	1~99



4-2 アンインストール

本アプリケーションをアンインストールする場合は、スタートメニュー⇒コントロールパネル⇒プログラムの追加と削除を選択し、プログラムの追加と削除ウィンドウを表示させます。

プログラムの変更と削除(H)で現在インストールされているプログラムを表示し、PDF 自動印刷アプリケーションを選択して削除ボタンを押すと、下記確認メッセージが表示されます。「はい(Y)」を選択することでPDF 自動印刷アプリケーションをアンインストールすることができます。

プログラム	ムの追加と削除
2	コンピュータから PDF自動印刷アプリケーション を削除しますか?
	(11)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)

Note

- アンインストールする際には本アプリケーションが終了していることを確認してからアンインストールを行ってください。
- ・.NET Framework2.0 または 3.5 のアンインストールを行う場合は、本アプリケーションの アンインストール後、別途行ってください。

日常の操作

5

インストール後、日常 PDF 自動印刷アプリケーションを使用するときは、タスクバーの通知領域に PDF 自動印刷アプリケーションのアイコンを右クリックして操作を行います。



タスクバーの通知領域にPDF 自動印刷アプリケーションのアイコンを右クリック しメニュー項目を表示します。



監視停止(I)を選択すると監視フォルダへの監視が停止されます。停止すると、 imageRUNNERからデータを送信してもプリントされません。 再開するには監視開始(S)を選択します。

5-2 オプションを使用する

オプション (<u>O</u>)を選択すると、設定画面が表示されます。詳しくは「<u>4</u> インストール・設定手順」の 「**Step**(5)アプリケーションのインストール・設定」をご参照ください。



タスクバーの通知領域にPDF自動印刷アプリケーションのアイコンを右クリック しメニュー項目を表示します。

バージョン(A)を選択すると、バージョン情報画面が表示されます。現在使用中のバージョンが確認できます。





5-4 アプリケーションの終了

終了(X)を選択すると、下記確認メッセージが表示されます。「はい(Y)」を 選択することでPDF 自動印刷アプリケーションを終了することができます。 終了するとタスクバーの通知領域から PDF 自動印刷アプリケーションのア イコンが消えます。再度起動したいときは、スタートメニュー⇒全てのプロ グラム⇒ PDF 自動印刷アプリケーション⇒ PDF 自動印刷アプリケーション を選択しアプリケーションを起動します。



困ったときには

6

-1) Windows Vista、7 へ SMB 送信できない場合の確認事項

imageRUNNERやPCの新規設定/送信設定の際、Windows Vista又はWindows 7 に SMB送信する際の留意点を記します。

物理的に通信が可能な環境(印刷ができるなど)で、imageRUNNER側の基本設定にミスがないにも関わらずWindows Vista又はWindows 7にSMB送信できない場合、PC側でいくつか確認する項目があります。 以下の項目でまだ確認されていない点があれば確認/設定変更をお試しください。

確認(1)共有フォルダの属性

共有するフォルダの属性を設定することができます。 「読み取り専用」が有効になっていると、imageRUNNERからファイルを送信できても PC 側 に書き込みできません。「読み取り専用」のチェックを外し「適用」してください。

フォルダのプロパティ>全般タブ>属性設定>読み取り専用:チェックを外し適用

確認(2) 共有ウィザードの使用

「共有ウィザード」機能を使用することで簡単な権限設定が使用可能です。(初期値:有効) フォルダに書き込む場合、アクセス許可レベルを「投稿者」以上に設定してください。 以下の「フォルダの共有」画面が表示されない場合「共有ウィザード」は無効になっていま す。その場合は「確認(3)共有フォルダのアクセス権」にお進みください。

- フォルダのプロパティ>「共有」タグ>「共有」ボタン>ログインユーザ:「投稿者」以上※
 または
- ・フォルダの右クリック>共有>ログインユーザ:「投稿者」以上※

※Windows7時は「所有者」または「読み取り/書き込み」権限となる。

	共有ウィザード	
	有効	無効
「ファイルの共有」画面	表示	非表示
フォルダのプロパティ>共有タブ>共有	アクティブ	グレーアウト
 フォルダ右クリック>共有	ファイルの共有画面	フォルダの共有タブ

【共有ウィザードの設定場所】

- 共有ウィザード機能の入り切りは以下の場所で設定できます。
 - ・コントロールパネル>クラシック表示>フォルダオプション
 >表示>共有ウィザードを使用する

【共有ウィザード使用時の注意】

共有ウィザードを使いデスクトップに共有フォルダを作成した場合、「C:¥Users」が共有されます。この場合は以下のパスを指定してください。

「¥¥コンピュータ名¥Users¥[ログインユーザ名]¥Desktop¥共有フォルダ名」

6

困ったときには

確認 3 共有フォルダのアクセス権

簡易ファイルの共有をしていない、ないしはドメインに参加している場合は、共有フォルダ のアクセス権を設定することができます。共有フォルダのアクセス権は確認項目が2箇所 あります。

確認3-1 「共有」タブによるユーザ単位のアクセス許可

imageRUNNERの宛先で指定した共有フォルダのログインユーザが、送信先共有フォルダのアクセ ス許可設定で「読み取り」になっている場合、SMB送信を行なうことはできません。「変更」以上の権 限を与えてください。

フォルダのプロパティ>共有タブ>詳細な共有>アクセス許可:「変更」以上

確認(3)-2) 「セキュリティ」タブによるユーザ単位のアクセス許可

imageRUNNERの宛先で指定した共有フォルダのログインユーザが、送信先共有フォルダの「セキュ リティ」タブで「読み取り」になっている場合、SMB送信を行なうことはできません。「変更」以上の 権限を与えてください。

フォルダのプロパティ>セキュリティタブ>アクセス許可:「変更」以上

注意 2つの権限設定の関連性 「共有」タブと「セキュリティ」タブに同一ユーザ (グループ)を追加し、違った権限を付与し た場合、セキュリティの強い方が優先されます。 例えば、User1ユーザの「共有」タブに「フルコントロール」、「セキュリティ」タブに「読み取り」 の場合、iRからUser1ユーザでSMB送信できません。「セキュリティ」タブの許可が、「共有」 タブより優先されます。

確認 👍 ログインパスワード

パスワード設定されたアカウントをご使用ください。

Windows Vista 又は Windows 7 で「パスワードが設定されていないローカルアカウント」でも、パソコンにローカルログインできます。ただし以下の現象が起こる可能性があります。

- ・「ログイン先またはユーザ名・パスワードを確認してください」と表示され imageRUNNERからログイン/宛先を設定できない。
- ・imageRUNNERからログイン/宛先設定が可能だが、実際にSMB送信できない。

上記の「パスワード無しアカウント」による現象は、「ネットワーク上のフォルダにアクセス する際、送信先パソコンへの認証が行なわれないため」です。上記現象を回避するためにも、 セキュリティの重要性も考慮し、必ずパスワード設定されたアカウントをご使用ください。



Windows Vista Home Basic/Home Premium (以下 Vista Home)では、Administrator というユーザはセーフモード時のみログイン可能なアカウントとして作成され、通常に起動した Vista Home では Administrator でログインすることはできません。

確認 (5) ファイアウォール

6

ファイアウォールの設定は、OS標準のものとサードベンダーのものを両方確認する必要があります。

確認(5)-1 Windows ファイアウォール

OS標準のWindowsファイアウォールが有効になっているか確認してください。有効になっている場合、セキュリティ上可能であれば、無効にしてSMB送信をお試しください。

※Windowsファイアウォールの設定箇所:マイネットワークのプロパティ>ローカルエリア接続のプロパティ>詳細設定タブ>設定ボタン

また、「例外」タブの「ポートの追加」から直接 SMB ポートを追加する事も可能です。

参考	SMB	で使用されるポート
	• UDP	137、138
	• TCP 139、	.445

確認(5)-2 サードベンダー製のファイアウォール

PCにサードベンダー製のファイアウォールアプリケーションが入っている場合、その設定によって SMB送信に必要なポートが塞がれてしまう場合があり、そのために SMB送信できないことがありま す。解除方法は、ファイアウォールアプリケーションにより異なりますので、アプリケーションメー カーに設定方法をご確認ください。

<mark>6-2</mark> Windows XP へ SMB 送信できない場合の確認事項

imageRUNNERやPCの新規設定/送信設定の際、Windows XPのPCにSMB送信できないケースがよくあります。ここでは確認すべき項目を記します。

物理的に通信が可能な環境(印刷ができるなど)で、imageRUNNER側の基本設定にミスがないにも関わらずWindows XPにSMB送信できない場合、PC側でいくつか確認する項目があります。

以下に挙げる項目でまだ確認されていない点があれば確認/設定変更をお試しください。

確認 (1) ファイアウォール

ファイアウォールの設定は、OS標準のものとサードベンダーのものを両方確認する必要があります。

確認1-1 Windows ファイアウォール

OS標準のWindowsファイアウォールが有効になっているか確認ください。有効になっている場合、 セキュリティ上可能であれば、無効にして SMB送信をお試しください。

※Windowsファイアウォールの設定箇所:マイネットワークのプロパティ

>ローカルエリア接続のプロパティ>詳細設定タブ>設定ボタン

確認 (1)-2 サードベンダー製のファイアウォール

PCにサードベンダー製のファイアウォールアプリケーションが入っている場合、その設定によって SMB送信に必要なポートが塞がれてしまう場合があり、そのために SMB送信できないことがありま す。解除方法は、ファイアウォールアプリケーションにより異なりますので、アプリケーションメー カーに設定方法をご確認ください。

困ったときには

6

確認 (2) 簡易ファイル共有設定時のセキュリティ

共有フォルダが簡易ファイル設定になっている場合は、フォルダプロパティ>共有タブ> 「ネットワーク上での共有とセキュリティ」>「ネットワークユーザによるファイルの変更を 許可する」が無効になっているとSMB送信ができません。この設定を有効にしてください。

確認(3) 共有フォルダの属性

簡易ファイルの共有をしていない、ないしはドメインに参加している場合は、共有フォルダの属性を設定することができます。

ファイル送信先フォルダのプロパティ>全般タブ>属性設定が「読み取り専用」になっていると、imageRUNNERからのファイルを送信できてもPC側に書き込みができないためエラーになります。

チェックを外してください。

確認 👍 共有フォルダのアクセス権

簡易ファイルの共有をしない、ないしはドメインに参加している場合は、共有フォルダのア クセス権を設定することができます。共有フォルダのアクセス権は場合により2点の確認 項目があります。

※Windows XP Home は簡易共有の設定になり、以下2点「共有タブのアクセス許可」「セキュリタブ」の設定は表示されません。

Windows XP Home は「確認 (4) 共有フォルダのアクセス権」を飛ばしてお読みください。

確認(4)-1 「共有タブ」によるユーザ単位のアクセス許可

imageRUNNERの宛先で指定した共有フォルダのログインユーザが、送信先共有フォルダのアクセ ス許可設定(フォルダプロパティ>共有タブ>アクセス許可)で「読み取り」になっている場合、SMB 送信を行なうことはできません。「変更」以上の権限を与えてください。

確認(4)-2 「セキュリティタブ」によるユーザ単位のアクセス許可

imageRUNNERの宛先で指定した共有フォルダのログインユーザが、送信先共有フォルダのNTFS設定(フォルダプロパティ>セキュリティタブ>アクセス許可)で「読み取り」になっている場合、SMB 送信を行なうことができません。「変更」以上の権限を与えてください。 ※ファイルフォーマットがNTFS以外の場合はこの項目はありません。

注意

「共有アクセス許可」と「NTFSアクセス許可」に同一のユーザ(グループ)を追加し、それぞれ に違った権限を付与した場合、セキュリティの強いほうが優先されます。

例) User1ユーザの共有アクセス許可「フルコントロール」、NTFSアクセス許可 「読み取り」の場合、iRからUser1ユーザでSMB送信できません。NTFSアクセス許可が 共有アクセス許可より優先されます。

困ったときには



6

・ セキュリティポリシー

Windows XPは従来のOSと比べセキュリティが強化され、さらにサービスパックをあてる ことにより、ポートやポリシーなどのセキュリティが強化されます。以下のポリシーが有 効になっていると SMB送信できないケースがあります。

コントロールパネル>管理ツール>ローカルセキュリティポリシー>ローカルポリシー> セキュリティオプション>「Microsoftネットワークサーバ:常に通信にデジタル署名を行 う」

上記ポリシーを無効にしてお試しください。

※設定後は必ずPCの再起動を行ってください。

PCを再起動しなければ設定変更したポリシーが有効になりません。

注意

上記ポリシーを無効にすることで、セキュリティ低下を招く恐れがあります。想定される 脅威は、セッションハイジャックなどです。「ポリシーの無効化」をお試しいただく場合、 ユーザにセキュリティの低下を招く恐れがあることをご了解いただく必要があります。

確認 🙆 🛛

ログインパスワード

Windows XP で「パスワードが設定されていないローカルアカウント」でも、パソコンにローカルログインできます。ただし以下の現象が起こる可能性があります。

- ・「ログイン先またはユーザ名・パスワードを確認してください」と表示され imageRUNNERからログイン/宛先を設定できない。
- ・imageRUNNERからログイン/宛先設定が可能だが、実際にSMB送信できない。

上記の「パスワード無しアカウント」による現象は、「ネットワーク上のフォルダにアクセス する際、送信先パソコンへの認証が行なわれないため」です。

上記現象を回避するためにも、セキュリティの重要性も考慮し、必ずパスワード設定された アカウントでログインしてください。

※Windows XP Homeでは、Administratorというユーザはセーフモード時のみログイン可能なアカウントとして作成され、通常起動したWindows XP HomeではAdministratorでログインすることはできません。

6-3 メッセージ一覧

6

メッセージ番号	メッセージ内容	対処方法
lmsg_0001	設定が変更されました。	
lmsg_0002	設定を登録しました。	
lmsg_0003	初期設定を行ってください。	
Emsg_0001	このアプリケーションは、既に起動しています。	アプリケーションが起動中か確認してください。
Emsg_0002	設定ファイルが存在しません。\r\n処理を終了します。	設定ファイルの存在を確認してください。
Emsg_0003	設定内容が不正です。¥r¥n(項目名)	設定内容の確認をしてください。
Emsg_0004	設定ファイルの作成に失敗しました。	ユーザごとのマイドキュメント ¥Canon MJ¥ PDFAutoPrintへのアクセス権を確認してださい。
Emsg_0005	ログファイルの作成に失敗しました。	ログフォルダへのアクセス権を確認してください。
Emsg_0006	プリンタ情報の取得に失敗しました。	プリンタへのアクセス権を確認してください。
Emsg_9999	システムエラーが発生しました。¥r¥n「詳細なエラー メッセージ」	ログファイルのException メッセージを確認してくだ さい。
Wmsg_0001	設定が登録されませんでした。¥r¥nアプリケーションを終了します。	次回アプリケーション起動時に設定を行ってくださ い。
Wmsg_0002	ログフォルダが作成できませんでした。	ログフォルダ作成先フォルダへのアクセス権を確認し てださい。
Wmsg_0003	PDF ファイルの保存先フォルダが作成できません。	PDF ファイルの保存先フォルダ作成先フォルダへのア クセス権を確認してださい。
Wmsg_0004	エラーフォルダが作成できませんでした。	エラーフォルダ作成先フォルダへのアクセス権を確認 してださい。
Amsg_0001	PDF 自動印刷アプリケーションを終了しますか?	

本アプリケーションで使用されるメッセージボックスの一覧を下表に示します。

※本アプリケーション起動時に設定ファイルの存在、設定内容の確認を行います。

※エラーが発生した場合、メッセージボックスを表示し処理を終了します。

※情報メッセージ:Imsg エラーメッセージ:Emsg 警告メッセージ:Wmsg 確認メッセージ:Amsg

バルーンに表示されるエラーメッセージ一覧



エラーコード	メッセージ内容	対処方法
2001	指定された監視フォルダが存在しません。	監視フォルダの存在を確認してください。
2002	指定されたプリンタが存在しません。	プリンタの存在を確認してください。
2003	指定された格納フォルダが存在しません。	格納フォルダの存在を確認してください。
2004	ファイルの削除に失敗しました。	監視フォルダへのアクセス権を確認してください。
2005	PDFファイルの格納に失敗しました。	ログファイル確認後対象のPDFファイルを確認して ください。
2006	設定内容が不正のためデフォルト値を設定します。 (項目名):%S1→%S2	オプションを選択し、該当する項目の値が%S2になっていることを確認してください。
2008	プリンタ情報の取得に失敗しました。	プリンタへのアクセス権を確認してください。
2009	設定内容が不正です。(項目名)	設定内容を確認してください。
9999	システムエラーが発生しました。	ログファイルのException メッセージを確認してくだ さい。

※ エラー発生時、アイコンを点滅してマウスカーソルをアイコンに近づけるとエラー内容を記載したバルーンを表示 します。

※%S1、%S2には、指定した値が出力されます。

